

アメリカ英語とイギリス英語

小さいようで
大きな違い

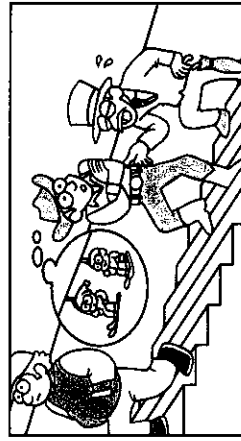
日本の英語教材はアメリカ英語中心ですが、イギリス英語の代表的な特徴も学習しておくことをおすすめます。オーストラリアやニュージーランドは、イギリス英語の影響が強くみられます。ここでは特にコミュニケーションギャップを起こしやすい例をいくつか紹介していきます。

1 代表的な単語の違い

イギリスでもアメリカでも通じる単語がほとんどですが、なかには全く通じなくて冷や汗をかくこともあります。また、生活に密着した単語ほど違った言い方をされたとときの違和感は大きいよう、通じていても直されることがあります。

〈ここはスキーム？〉

[米] elevator エレベーター [英] lift



アメリカのデパートで、イギリス人旅行者がエレベーターの場所をたずねたところ、このデパートにはないと言われました。このイギリス人旅行者は「Where is the lift?」とたずねたのです。アメリカではliftとはスキー場のリフトのこと。エレベーターのことはelevatorと言います。

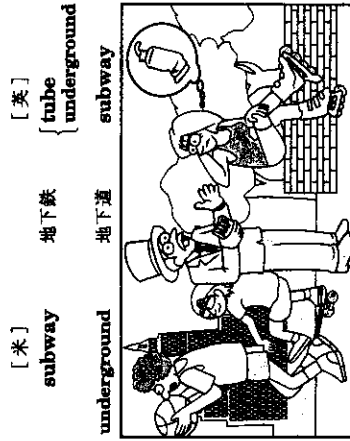
〈ポテトチップなんて注文してないよ？〉

[米] french fries フライドポテト chips
potato chips ポテトチップ crisps



アメリカの小さな町のレストランでイギリス人が「chips」を注文したら、ポテトチップが出てきました。彼が食べたかったのはフライドポテトなのですが、イギリスではchipsと言うのです。アメリカでchipsはポテトチップ、フライドポテトならFrench friesと言います。

〈絵でも描きたいの？〉

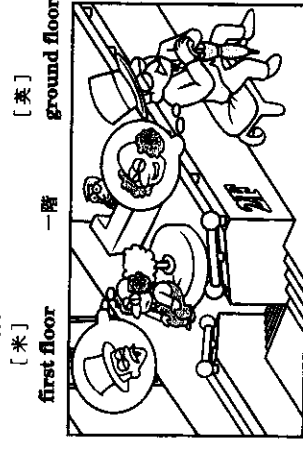


[米] subway 地下鉄 [英] tube 地下鉄
underground 地下道 subway

イギリス人が地下鉄の場所をたずねていますが、語が全くかみ合いません。イギリスでは地下鉄のことをtubeと呼びますが、アメリカではこの呼び方はありません。またundergroundはイギリスでは地下鉄を、アメリカでは地下道のことを指します。

『社会人のための英語百科』

〈どこが1階？〉



[米] first floor 一階 [英] ground floor
アメリカ人とイギリス人が「the first floor」で待た合わせましたが、会えませんでした。イギリスでは「地面の高さ」にそろう階がground floor, first floorは2階になるのです。

〈米英で単語が異なる代表的なもの〉

[米]	apartment	アパート	[英]	flat
	automobile	自動車		car
	bill	お札		bank-note
	cab	タクシ-		taxi
	candy	キャンディ		sweet
	check	請求書		bill
	closet	衣装箱		wardrobe
	diaper	おむつ		nappy
	drugstore	薬局		chemist's
	fall	秋		autumn
	faucet	蛇口		tap
	flashlight	懐中電灯		torch
	garbage	ごみ(箱)		rubbish
	gas station	ガソリンスタンド		petrol station
	hood	(車の)ボンネット		bonnet
	line	行列		queue
	mad	怒る		angry
	mail	郵便		post
	math	数学		maths
	pants	ズボン		trousers
	purse	ハンドバッグ		handbag
	sidewalk	歩道		pavement
	store	お店		shop
	truck	トラック		lorry
	vacation	休日		holiday
	vest	ベスト		waistcoat
	wrench	工具		spanner
	yard	庭		garden

(The U.S.A., Prentice Hall International, 1996)

2 つづりの違い

米英では同じ単語でもつづりの違うものがあります。以下が代表的なものです。

[米]	theater	[英]	theatre
	meter		metre
	color		colour
	humor		humour
	program		programme
	check		cheque

3 発音の違い

[米]	[英]	例
[æ:]	[ɑ:]	ask ant bath can't
[ɑ]	[ɔ]	college hot not top
[ou]	[əu]	cold home go old
[i:]	[ia]	hero real zero
[hw]	[w]	whale white what
[ɔr]	[ɔ:]	car start part bark

〈"I'm sorry I can't."〉

アメリカ人の「can't」が「キャンント」と聞こえるのに対して、イギリス人の「can't」は、ほとんど「カーント」と聞こえます。「できない」ということを強調するときは深くこの音を響かせているように感じるのは考えすぎでしょうか？

イギリス人もアメリカ人もお互いの口まねをしたりして、からかう口調でお互いの口まねをしたりします。

4 冠詞の違い

日本人にとって難しい冠詞ですが、実は英米でも使われる異なる場合があります。以下の例を見てみましょう。

[米]	go to a university	大学へ行く
[英]	go to university	大学に在学中です
[米]	be at the university	入院中です
[英]	be at university	入院中です
[米]	be in the hospital	入院中
[英]	be in hospital	入院中

(小河園子)